

令和4年5月27日  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

## 民間競争入札実施事業

「安全・ミッション保証技術研修に係る技術支援業務」の実施状況について

### I. 事業の概要

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」という。）の安全・ミッション保証技術研修に係る技術支援業務（以下「本業務」という。）については、「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号）」に基づき、公共サービス改革基本方針に従って民間競争入札を行い、令和2年から以下の内容にて業務を実施している。

#### 1. 委託業務内容

本事業は、JAXAが研究開発業務における安全確保及びミッション達成のために行う活動に対する研修を行うため、研修スケジュール管理、研修準備、当日の研修実施、実施結果のまとめについて職員の業務の支援を行うものである。

#### 2. 業務委託期間

令和2年4月1日から令和5年3月31日(3年)

#### 3. 受託事業者

有人宇宙システム株式会社

#### 4. 実施状況評価期間

令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年間

#### 5. 受託事業者決定の経緯

「安全・ミッション保証技術研修に係る技術支援業務」における民間競争入札実施要項に基づき、入札参加者（1者）から提出された提案書について、実施要項に定める技術評価専門部会(令和2年3月10日開催)において審査した結果、評価基準を満たしていた。なお、入札説明会参加者数は2者、仕様書等受領者数は2者であった。

入札価格については、令和2年2月10日に開札した結果、予定価格の範囲内での応札であり、総合評価を行ったところ、上記の者が落札者となった。

## II. 確保すべき質の達成状況及び評価

民間競争入札実施要項 2. (3) において定めた民間事業者が確保すべきサービスの質の達成状況に対する当機構の評価は、下表のとおり。

評価事項	測定指標	評価
安全・ミッション保証技術研修支援	研修終了後のアンケート結果で、7割以上の受講者から5段階評価の上位2つ「有益」、「非常に有益」との評価を得ること。	<p>・研修のスケジュール管理、「システム安全」、「品質保証」、「信頼性」、「ソフトウェア安全・開発保証」における研修教材・講師の準備、研修当日の実施支援、実施結果まとめ、次年度への反映検討がなされ、実施結果が報告された。</p> <p>・令和2年度の評価結果については、レベル1では81%、レベル2で84%「有益」、「非常に有益」との評価であった。</p> <p>・令和3年度レベル1の評価結果については、レベル1で83%、レベル2で94%の「有益」、「非常に有益」との評価であった。</p> <p>令和2年度レベル1のアンケート回収率が80%であるが、令和2年度のレベル2及び令和3年度のアンケートの結果から、残りの未回収分20%も回収済80%と同様の評価であると考えられ、回収率80%の結果を外挿すると「7割以上が上位2つ「有益」、「非常に有益」との評価を得ること」を満たしていると想定される。よって、確保されるべき質を達成していると考えている。</p> <p>令和2年度のレベル2及び令和3年度については、確保されるべき質を達成している。</p> <p>アンケート結果を別表2に示す。</p>
ク. 業務引継ぎ方法		民間事業者の変更がないため引継ぎは不要であった。

市場化テスト前と第2期の研修回数と参加者人数は以下のとおり。

【平成26年度~28年度（市場化テスト前）の研修回数及び参加人数】

研修	回数、人数	平成26年度	平成27年度	平成28年度
レベル1研修	回数	11回	11回	11回
	参加者数	175人	159人	179人
レベル2研修	回数	4回	5回	4回
	参加者数	17人	32人	23人
研修回数合計	回数	15回	16回	15回

【令和2年度及び令和3年度の研修回数及び参加人数】

研修	回数、人数	令和2年度	令和3年度
レベル1研修	回数	8回	8回
	参加者数	207人	130人
レベル2研修	回数	8回	8回
	参加者数	72人	75人
研修回数合計	回数	16回	16回

別表2 キ. 安全・ミッション保証技術研修支援 アンケート結果

5段階評価の上位二つの占める割合を以下の表に示す。

【令和2年度】レベル1研修アンケート結果（受講者延べ人数207人）

アンケート項目	上位二つの占める割合	回答者数	回収率
研修は有益であったか	81%	166人	80%
研修の進め方/ペースは適切か	43%	166人	80%
テキストの構成は適切か	72%	166人	80%
業務の参考となったか	85%	166人	80%

【令和2年度】レベル2研修アンケート結果（受講者延べ人数72人）

アンケート項目	上位二つの占める割合	回答者数	回収率
研修は有益であったか	84%	68人	94%
研修の進め方/ペースは適切か	43%	68人	94%

テキストの構成は適切か	72%	68人	94%
業務の参考となったか	93%	68人	94%

【令和3年度】レベル1研修アンケート結果（受講者延べ人数130名）

アンケート項目	上位二つの占める割合	回答者数	回収率
研修は有益であったか	83%	123人	95%
研修の進め方/ペースは適切か	48%	123人	95%
テキストの構成は適切か	76%	123人	95%
業務の参考となったか	94%	123人	95%

【令和3年度】レベル2研修アンケート結果（受講者延べ人数75名）

アンケート項目	上位二つの占める割合	回答者数	回収率
研修は有益であったか	94%	70人	93%
研修の進め方/ペースは適切か	40%	70人	93%
テキストの構成は適切か	84%	70人	93%
業務の参考となったか	89%	70人	93%

### Ⅲ. 実施経費の状況及び評価

#### 1. 実施経費

○従来（平成26年4月1日から平成29年3月31日まで）

・契約額：324,410,000円（税抜）

単年度平均：108,136,666円（税抜）

（上記のうち、本契約に該当する業務の経費）

・契約額：¥69,778,728円（税抜）

単年度平均：23,259,576円（税抜）

○今回（令和2年4月1日から令和5年3月31日まで）

・契約額：¥69,000,000円（税抜）

単年度平均：23,000,000円（税抜）

市場化テスト実施前の実施経費と比較した結果、第2期は研修回数が増えているが契約額が減少している。このことから、市場化テストによる契経費削減効果があったと評価

できる。

#### IV. 総合評価

確保すべき質の達成状況について、IIのとおり、令和2年度のレベル1については、アンケートの回収率が80%であったものの、測定指標を達成していると考えている。令和2年度レベル2及び令和3年度は測定指標を達成している。本業務を市場化テストの終了プロセスに照らし合わせると、以下のとおりである。

- ① 事業実施期間中に、受託民間事業者が業務改善指示等を受けたり、業務に係る法令違反行為等を行ったりした事実はなかった。
- ② JAXAにおいて、実施状況について外部の有識者等によるチェックを受ける仕組み（評価委員会等）を備えている。
- ③ 入札にあたっては説明会には2社参加したが、1者応札となったため、今後の競争性の確保に当たっては、より多くの民間事業者へ入札参加を促すなど、多くの事業者が入札に参加するよう努める。
- ④ 対象公共サービスの確保されるべき質に係る目標は達成されている。
- ⑤ 経費については、市場化テスト実施前と比較した場合、第2期は研修回数が多くなっているが契約額が減少しており、市場化テストによる経費削減効果があったと評価できる。

#### V. 今後の事業

##### 1. 今後の競争性確保のための検討

本業務は、平成28年度まで、仕様書における仕様内容の表現の見直し、具体的追記を逐次行っていたが、1者応札が続く状況であった。市場化テストの対象となった平成29年～31年度の契約においても、事業の複数年化、実施要項への記載事項の具体化等対策を行ったものの、1者応札となったところである。入札に参加した事業者が1者であった理由については「本事業が多岐に渡り、能力的、人間的な対応ができない」「業務量が多く、完遂が困難」等が考えられるため、令和2年～令和5年の契約については、研修業務として分割し契約を行ったが、1者入札であった。次期入札については、多くの事業者が入札に参加できるよう競争性を高めるため公告期間の長めの設定や研修講師の外注を可能とするよう仕様書を見直す等の検討を進める。

##### 2. 今後の本業務の在り方について

以上のことから、改善に向けた取り組みを行っているものの、1者応札が続き改善を要するような状況となっていることから、本業務次期においても引き続き市場化テストを実施することとしたい。

以上